



萩の里

黒部市立萩生小学校

学校だより5号

令和2年9月30日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

全校で実施した遠足(9/18、24)

9月18日(金)には低学年と中学年、24日(木)には高学年の遠足が行われました。例年は、低学年と中学年は4月に行いますが9月に延期し、高学年では予定していた宿泊学習を1日目の日程のみを遠足とし、全学年のバスを通常の2倍の台数にして実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、大きな行事がほとんどできなかった中で、運動会に続き、子供たちが充実した活動を行うことができたと思います。

低学年

魚津水族館とほたるいかミュージアムへ行きました。水族館では、たくさんの種類の海の生き物を見たり、触ったりして楽しみました。ほたるいかミュージアムでは、ほたるいか漁の映像やプランクトンの発光ショーを見せてもらい、子供たちは「光った!」と口々に吹き、驚いていました。ヒラメやカニ、エビに触れることができる場所では、身を乗り出して水中の生き物との触れ合いを楽しんでいました。雨天での遠足でしたが、好奇心旺盛な子供たちにとっても大満足の遠足となりました。



中学年



まず、富山市の四季防災館で、消火器を使ったり地震の揺れを体験したり展示物を見たりして、防災について学習しました。次に、ますのすしミュージアムでは、円い木の箱に笹を実際に敷き詰める様子を見た後に、ますのすしのおいしさの秘密を映像で学びました。富山の伝統である食品の製造の様子を学習することができました。

高学年

立山カルデラ砂防博物館と国立立山青少年自然の家に行きました。天候に恵まれた一日となり、友達と一緒にのびのびと博物館見学や大日の森での植物探検を楽しみ、富山県の豊かな自然について学習することができました。5、6年生が混じった班での活動を通して、友達のよさや優しさにも気づき、高学年の絆もより一層深まったようです。

第1回保護者アンケート（1学期実施）の結果をお知らせします

1学期に実施しました子供たちの「ふりかえってみよう週間」と保護者アンケートの結果をお知らせします。アンケートへのご協力ありがとうございました。

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

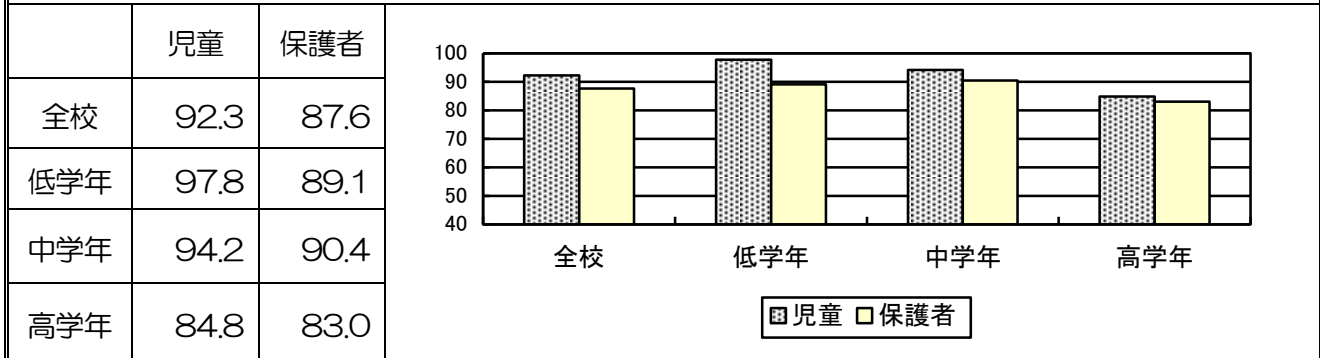
【保護者アンケート結果と児童自己評価との比較】

第1回（1学期実施）

アクションプラン1-①【徳】やさしく（あいさつ）

(児童) 明るく大きな声であいさつをした。

(保護者) あいさつをしている。

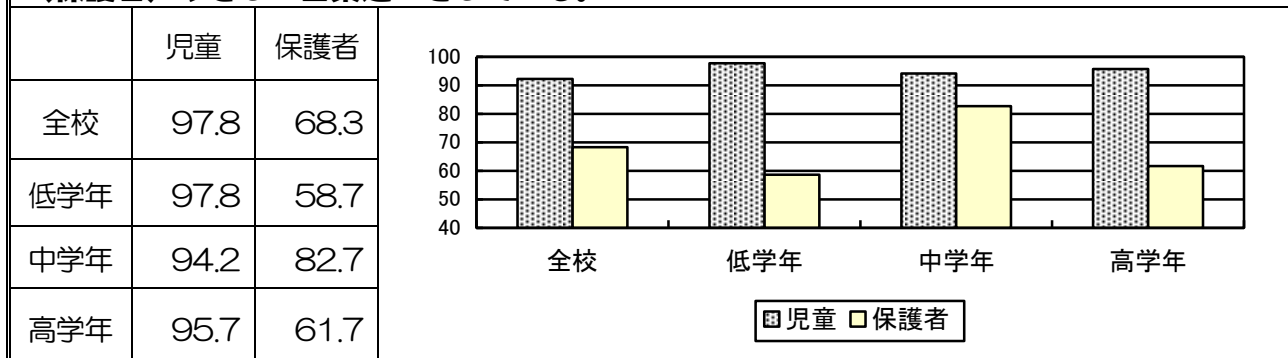


アクションプラン1の挨拶についてのアンケート集計では、昨年度と同様に児童と保護者の数値の開きは比較的小さくなっています。今年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、1学期は学校に登校する日が少なかったのですが、保護者の評価の数値が高いことから、家庭でも挨拶がよくできていたと考えられます。今後も、学校だけでなく、家庭や地域の方々いろいろな場面で協力をいただきながら、どこでも挨拶ができるように意識して指導していく必要があると考えています。

アクションプラン1-②【徳】やさしく（言葉遣い）

(児童) 友達にぼかぼか言葉をつかった。

(保護者) やさしい言葉遣いをしている。

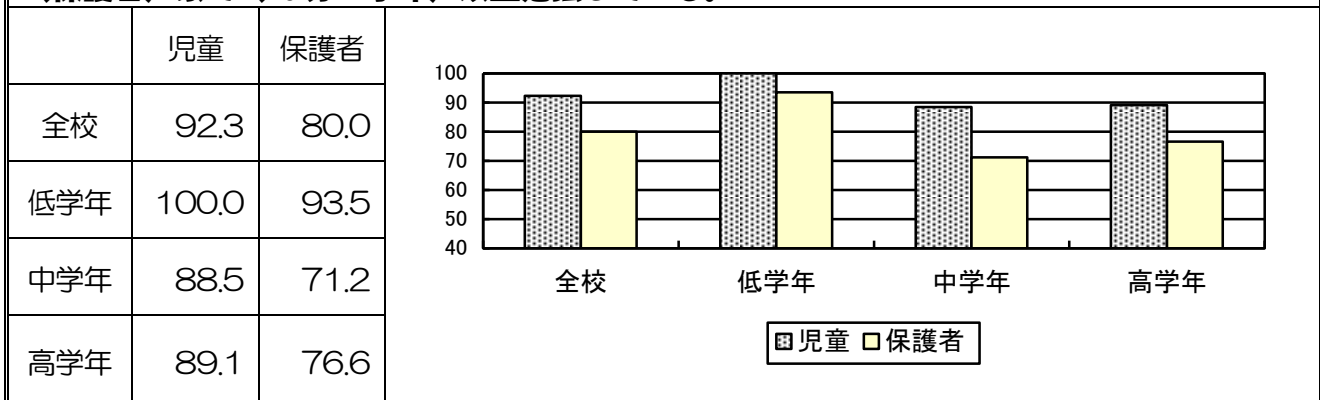


言葉遣いに絞ってアンケートを取り、集計した結果では、昨年度とやはり同様に児童と保護者の数値の開きが大きくなっており、特に低学年と高学年ではその差は、約30～40%です。児童にとっては、「友達にぼかぼか言葉を使っている」という意識が高いのですが、保護者の側からみると、言葉遣いできていないと感じている方が多いことが分かります。ぼかぼか言葉が本当に学校や家庭で使われているかどうかを児童に聞いて確かめたり、どうしたら児童がぼかぼか言葉を使うようになるのか、学級懇談会等で話題に挙げ話し合ってみたりするなど、学校と家庭が連携して指導をしていく必要があると考えています。

アクションプラン2【知】かしこく

(児 童) 家で (10分×学年) 以上勉強した。

(保護者) 家で (10分×学年) 以上勉強している。



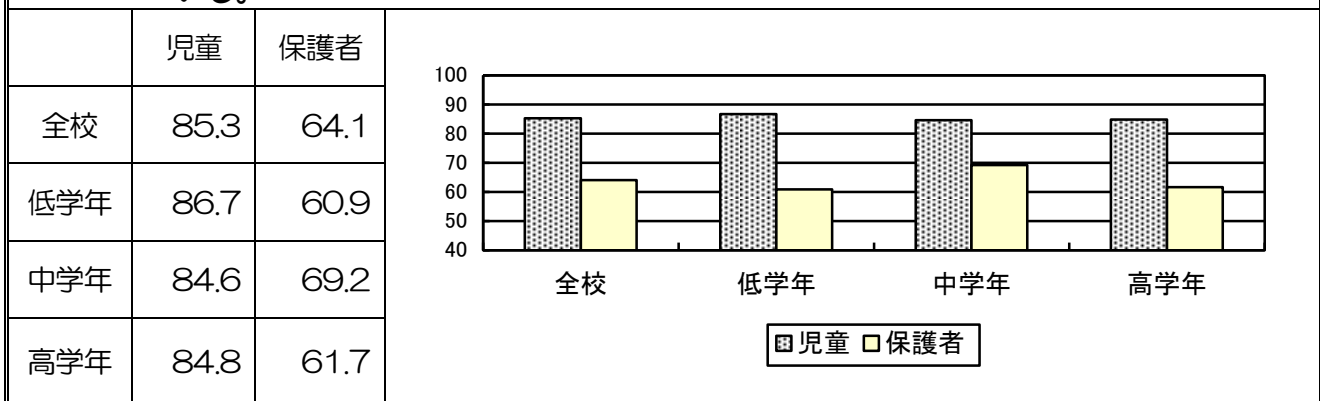
アクションプラン2の家庭学習についても、今年度の1学期は、学校から出された課題を家庭で学習する機会が多かったためか、児童と保護者の評価が比較的近い傾向にあります。特に低学年では、家庭で学習が「できていた」と答える割合が児童も保護者も高く、家庭での学習が充実していたことがうかがえます。2学期以降は通常の家学習ができているかどうかを見ることとなりますので、この結果がどう変わるのかをきちんと見る必要があると思います。

本校では、自学ノートを使った家庭学習が定着していますが、普段の授業の充実や自学ノート展、自学ノート達成者の表彰等、今後も家庭学習の充実に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

アクションプラン3【体】たくましく

(児 童) 各学年の目標の就寝時刻(1・2年 9:00、3・4年 9:30、5・6年 10:00)までに寝ることができた。

(保護者) 各学年の就寝時刻(1・2年 9:00、3・4年 9:30、5・6年 10:00)までに寝ている。



アクションプラン3では、児童の自己評価が他のアクションプランに比べて低くなっています。保護者の評価も同様で、学校で勧めている就寝時刻までに寝ることが「できていない」と感じている方が多いことがよく分かります。各家庭の生活時間は同じではなく、それぞれの生活リズムがあると思ひれますが、就寝時刻が遅くなると、睡眠の質が低下し、健康上そして生活上によくない影響をもたらします。この結果を受けて今月、全学年で睡眠についての保健指導を行い、児童は睡眠の大切さを学習しました。アクションプランに取り上げた就寝時刻を一つの目標にして、児童が健康な生活習慣を身に付けるように、今後も学校と家庭が連携をしてじっくりと取り組む必要があると思ひます。

様々な工夫と協力で実施できた運動会（9/12）



9月12日、「みんなが主役 はなれていても心を一つに 優勝目指してワンチーム」をスローガンに運動会が行われました。数日前の天気予報では雨となっていたが、当日は暑いほどの晴天で、朝から子供たちの精一杯の元気な演技が見られました。

開会式の後、応援合戦を兼ねたエール交換があり、事前に録音してあった音声に合わせて、互いに健闘を祈りました。その後、競技



の中心である100m走と興味走が続けて行われ、100m走では好記録がいくつも出ました。鼓笛隊では、編曲を全体的に行い、全体の動きや個々の動作を刷新しました。全校踊り「荻生小唄」では、児童席から直接移動するようにし、時間短縮と熱中症対策を同時に行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため午前中だけの開催にしたので、開閉会式を簡素化し、競技種目を精選し、熱中症の対策も兼ねて練習時間を絞って準備してきました。また、児童席のテントを昨年度の2倍の数に増やしてテント内が密にならないようにしたり、グラウンド内10箇所に消毒用アルコールを置いたり、競技中も体育館を開放したりする対策を行いました。これらは、今後の運動会開催のヒントになると思います。



体育館の開放や100m走ゴール付近の混雑解消では、PTA執行部の方々にお世話をいただきました。また、朝からの準備や終了後の片付け、児童の活動場所の確保等、PTAや地域の皆様には、いろいろな面でご協力いただき、充実した運動会にすることができました。本当にありがとうございました。

2学期の今後の主な予定

《10月行事予定》

- 12日（月）さわやかあいさつ運動週間（～19日）
- 16日（金）就学時健康診断
- 19日（月）ふれあい（教育相談）週間（～23日）
- 23日（金）学校保健委員会（4～6年対象）
- 24日（土）・25日（日）公民館祭り
作品展示（トレーニングセンター）

《11月行事予定》

- 2日（月）1年心臓検診
- 5日（金）学習参観
- 17日（火）黒部地場産学校給食の日
- 21日（土）～24日（火）黒部市幼小中美術展

《12月行事予定》

- 3日（木）個別懇談会（1日目）
- 4日（金）個別懇談会（2日目）
- 24日（木）給食最終日
- 25日（金）第2学期終業式

